

丘は花ざかり (1952)

メディア 映画

ジャンル ロマン ス 青春

製作国 日本

色彩 B&W

時間 120分

初公開日 1952/11/18

【解説】

石坂洋次郎の同名小説を、井手俊郎と水木洋子が脚色し、千葉泰樹が監督した東宝創立20周年記念作品として製作された。1963年には浅丘ルリ子主演でリメイク版が公開されている。

高島信子は真面目な夫を持つ主婦だったが、代わり映えのしない日常に嫌気がさし、PTAの役員として活動することに。信子は同じPTAの役員である石山という男性と親しくなる。石山は信子の美貌に惹かれ、彼女を誘おうとしていた。出版社に勤める香月美和子は信子の妹で、高島家に居候していた。美和子は妻を亡くした編集長の野呂の家に入りし、やがて彼との結婚まで考えるようになっていた。しかし野呂に、自分よりもっと若い男性と家庭を築くべきと諭される。

【クレジット】

監督 千葉泰樹

製作 藤本真澄

原作 石坂洋次郎

脚本 井手俊郎

水木洋子

撮影 中井朝一

美術 松山崇

音楽 服部良一

出演 木暮実千代

高島信子

清水将夫

高島勇造

杉葉子

香月美和子

池部良

野崎正也

山村聡

So Yamamura

野呂良三

上原謙

石山春雄

瀧花久子

加代

三津田健

山田社長

高杉早苗

白川朝子

志村喬

木村健吉

中北千枝子

岩本ひさ子

汐見洋

平田宗人

沢村貞子

神崎アヤ子

広瀬嘉子

夏江

浦辺条子

お國